

令和2年度「学校評価」アンケート集計結果とその分析

令和3年2月

宮城県美田園高等学校

「学校評価」アンケートへのご協力ありがとうございました。

【集計結果及び分析の概要】

<生徒・保護者①：回収率等>

○今年度、試行として「Myスタ」のアンケート機能を活用し、インターネットによるアンケート回答（以下「ネット回答」）を併用して実施しました。ネット回答率は生徒が全体の25.8%、保護者が全体の24.9%となりました。全体の回答数は生徒が25%で昨年度32%から大きく落ち込みましたが、保護者については昨年とほぼ同じの19%でした。（→資料1参照）

⇒感染症拡大で登校機会が減った今年度、HRでの直接記入をした生徒が大変少なかった分、生徒の回答率が下がったものとみられます。一方で保護者の皆さんからは昨年同様の回答をいただき、ネット回答についても4人に1の方が回答していただいたことから、ネット回答は一定の成果を上げたものと考えております。次年度は、周知の充実を図っていききたいと考えています。

<生徒・保護者②：「一斉配信メール」に係る肯定的回答が向上>

○「一斉配信メール」（生徒「登録している」、保護者「知っている」）について、生徒は92.8%、保護者も92.3%となりました。（→資料2参照）

⇒休校期間等もあり、今年度は生徒の登校機会が極端に減少し、休校措置やスクーリングの情報など、一斉配信メールの活用が多くなりました。非常時において一斉配信メールが有効かつ重要であるという意識を生徒・保護者の皆さんに持っていただいたことが大きな要因といえます。次年度も学校での活動に制約が多い状況が続くと思われまます。一斉配信メールを最大限活用し、積極的に情報発信するよう工夫・改善を進めていききたいと考えています。

<生徒・保護者③：学習方法の周知に課題>

○「2レポート添削・スクーリングと意欲・学力」について、肯定的評価が大きく減少しました。

⇒感染症拡大により各種ガイダンスが中止となり、十分な説明の機会がないままスタートしたことで学習リズムが作れず特に今年度入学の2020年度生を中心に肯定的評価が減少したものと思われまます。次年度はガイダンスが実施できない場合も踏まえ、Myスタなどを活用し、学習コンテンツの充実だけでなく、学習方法の周知を図りたいと考えています。

<教職員>

○教職員の集計結果についても、昨年度までとは違った傾向がみられます。「5基本的な生活習慣」「7生徒会活動」「13生徒の学校生活」については生徒の活動が制限されたこともあって肯定的評価を下げました。

⇒今年度は生徒会活動や学校行事の中止、縮小となり、生徒の活躍の場が少ない状況になりました。その中でも生徒作品展、マナーアップ標語などは昨年を上回る生徒の参加となり、コロナ禍にあって制約がある中で充実したものになったと考えております。次年度も引き続き生徒が充実した学校生活を送れるよう取り組んでいききたいと考えています。

※上記で取り上げた項目を含む全設問項目の集計結果と詳細な分析は資料3をご覧ください。

【自由記述より】

○自由記述で生徒から11件、保護者から16件のご意見をいただきました。6割は要望・意見でした。

○要望・意見の中で、今年度は、「コロナ禍の中で勉強の進め方、スクーリングへの出席の仕方など説明が不十分」という内容を複数いただきました。上述のとおり、学習コンテンツの充実だけでなく本校のホームページやMyスタを通して今回ご指摘いただいたことについて改善を図っていききたいと考えております。

分析結果を全職員で共有し、今年度の取組に改善を加え、さらに充実するよう取り組んでいきますので次年度についても、本校の教育活動へのご理解、ご協力をお願いします。

資料1 アンケート実施の概要

〈R2〉

○実施時期：令和2年10月～11月

○対象者：当該年度に科目登録を行った生徒888名，およびその保護者・保証人等

○回答数：生徒221名（科目登録者の25%） 保護者・保証人等169名（科目登録者の19%）

〈R1〉

○実施時期：令和元年10月～11月

○対象者：当該年度に科目登録を行った生徒865名，およびその保護者・保証人等

○回答数：生徒277名（科目登録者の32%） 保護者・保証人等168名（科目登録者の19%）

資料2 肯定的評価の過年度比較

※1 〈生徒〉〈保護者〉〈教職員〉とも，R1の肯定的評価の割合（%）の高い順にソート

※2 肯定的評価 = 「よくあてはまる」+「だいたいあてはまる」

※3 「↑」「↓」は，順位が3以上の変動があったもの

〈生徒〉 設問数15

設問項目		R2		R1		H30	
番号	内容	割合	順位	割合	順位	割合	順位
9	単位修得の仕組み	93.7	1	84.9	2	95.5	1
10	一斉配信メール	92.8	2 ↑	64.6	9	73.4	10
12	郵送物	90.1	3	81.5	3	94.6	2
14	生徒・保護者への学校の対応	84.6	4	75.4	5	90.4	4
15	通信制の学習スタイルへの適応	81.0	5	73.0	6	87.7	5
3	スクーリングとレポート作成	80.1	6 ↓	88.1	1	93.5	3
2	レポート添削・スクーリングと意欲・学力	79.6	7 ↓	76.9	4	87.2	6
6	相談体制	76.0	8	73.0	6	85.1	7
1	校訓	73.3	9 ↑	59.6	12	68.0	12
13	生徒の学校生活	68.4	10	62.1	11	76.4	8
11	災害・非常時の避難方法	66.5	11	58.9	13	67.3	13
4	進路指導	62.9	12 ↓	65.0	8	72.4	11
5	基本的な生活習慣	62.0	13 ↓	62.8	10	65.8	14
8	学校行事	55.6	14	57.4	14	75.1	9
7	生徒会活動	43.9	15	48.0	15	61.2	15

〈保護者〉 設問数12

設問項目		R2		R1		H30	
番号	内容	割合	順位	割合	順位	割合	順位
10	一斉配信メール	92.3	1 ↑	75.6	6	82.7	6
12	郵送物	89.3	2	84.0	1	88.2	3
15	通信制の学習スタイルへの適応	88.7	3	82.1	3	89.6	2
6	相談体制	88.2	4	79.7	5	86.2	5
14	生徒・保護者への学校の対応	87.0	5	79.8	4	86.8	4
2	レポート添削・スクーリングと意欲・学力	85.8	6 ↓	83.9	2	90.5	1
4	進路指導	69.3	7	67.3	9	66.4	10
8	学校行事	65.1	8	71.4	7	76.4	8
11	災害・非常時の避難方法	64.5	9	68.4	8	77.2	7
13	生徒の学校生活	64.5	9	66.1	10	76.4	9
5	基本的な生活習慣	62.7	11	64.3	11	65.3	11
7	生徒会活動	45.6	12	50.0	12	51.1	12

〈教職員〉 設問数11

設問項目		R2		R1		H30	
番号	内容	割合	順位	割合	順位	割合	順位
6	相談体制	100.0	1	100.0	1	96.6	6
12	郵送物	100.0	1	100.0	1	100.0	1
14	生徒・保護者への学校の対応	100.0	1 ↑	92.6	7	100.0	1
17	分掌目標の実現	100.0	1	100.0	1	96.7	4
2	レポート添削・スクーリングと意欲・学力	100.0	5	96.3	6	100.0	1
16	組織的な日常の教育活動	96.4	6 ↓	100.0	1	96.7	4
4	進路指導	96.4	7	89.3	8	93.4	7
9	単位修得の仕組み	92.9	8	89.3	8	72.4	8
7	生徒会活動	82.1	9 ↓	96.4	5	89.7	9
5	基本的な生活習慣	71.4	10	78.6	10	77.8	10
13	生徒の学校生活	60.7	11	71.4	11	70.0	11

資料3

令和2年度「学校評価」の分析と改善の方策

令和3年2月 宮城県美田園高等学校

「学校評価」アンケートへのご協力ありがとうございました。この結果を踏まえて、よりよい学校になるよう一層努力してまいりますので、どうか今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

設問 1	校訓について		
生徒	私は美田園高校の校訓を知っている。		
数字は%を表しています	生徒		
	R2	R1	H30
よくあてはまる	26.2%	18.4%	20.8%
だいたいあてはまる	47.1%	41.2%	41.2%
あまりあてはまらない	16.7%	15.9%	17.6%
あてはまらない	5.4%	9.0%	5.9%
よくわからない	4.1%	15.5%	14.5%
アンケート結果の分析内容	肯定的評価をした生徒の割合は昨年度より大きく上昇しました。新入生の肯定的評価の割合が高かったのが原因です。今年度はコロナウィルスの影響で前期のスクーリングを通常通り実施することができず、登校する機会が例年よりかなり少ない状況でしたが、本校の仕組みを理解するための課題プリントに各自がしっかり取り組んだ結果、そこで紹介されていた校訓にも意識を向けてくれたのではないかと思います。		
改善の方策	校訓を意識する機会を少しでも増やすために、入学式、卒業式等の儀式的行事でのあいさつをはじめとして、年度HRや各種通信物などさまざまな手段を活用して、今後も繰り返し生徒に伝えていきたいと思えます。		

設問 2	レポート添削・スクーリングについて								
生徒	美田園高校では、学ぶ意欲を引き出し、学力が身につくようなレポート添削・スクーリングが行われている。								
保護者	美田園高校では、学ぶ意欲を引き出し、学力が身につくようなレポート添削、スクーリングが行われている。								
教職員	美田園高校は、学ぶ意欲を引き出し、学力が身につくレポート添削・スクーリングを行っている。								
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員		
	R2	R1	H30	R2	R1	H30	R2	R1	H30
よくあてはまる	28.5%	19.9%	27.8%	27.2%	27.4%	28.2%	14.3%	18.5%	28.6%
だいたいあてはまる	51.1%	57.0%	56.5%	58.6%	56.5%	60.4%	85.7%	77.8%	64.3%
あまりあてはまらない	10.0%	9.7%	10.6%	7.1%	4.8%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%
あてはまらない	1.8%	2.9%	1.4%	0.6%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%
よくわからない	7.2%	10.5%	3.7%	6.5%	11.3%	7.4%	0.0%	3.7%	7.1%
アンケート結果の分析内容	新型コロナウイルス対応で、通常通りのスクーリングが実施できない中で、全体的な評価については例年通りの分布となりました。これは、前後期を通してのS課題での時数認定や前期の年度別登校スクーリングなど工夫をしてスクーリングを実施したからであると思えます。								
改善の方策	各科目で工夫を凝らしてレポート添削・スクーリングを実施しておりますが、今後もさらに全ての生徒が興味・関心を持って取り組めるよう、レポートの作成やICTを活用したレポート学習の支援など工夫をしていきます。								

設問 3		スクーリングについて		
生徒	美田園高校のスクーリングはレポート作成に役立っている。			
数字は%を表しています	生徒			
	R2	R1	H30	
よくあてはまる	46.6%	47.7%	51.9%	
だいたいあてはまる	33.5%	40.4%	39.8%	
あまりあてはまらない	3.6%	5.1%	5.1%	
あてはまらない	0.5%	1.1%	1.4%	
よくわからない	15.8%	5.7%	1.9%	
アンケート結果の分析内容	肯定的な評価が、一定数あるものの、新型コロナウイルス対応で例年通りのスクーリングができなかったため、「よくわからない」が多くなったのだと思われます。			
改善の方策	ICTを活用し、さらに興味・関心を深められるような自作教材の提示を行う等レポート作成に役立つスクーリングを組み立てていくなどの工夫をするのはもちろん、参加する生徒との関わりを深め、安心して参加できるスクーリングを目指します。			

設問 4		進路指導について								
生徒	美田園高校では、進路目標を明確にするための指導が適切に行われている。									
保護者	美田園高校では、進路目標の明確化に向けた生徒への指導が適切に行われている。									
教職員	美田園高校は、適切な進路指導を行っている。									
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員			
	R2	R1	H30	R2	R1	H30	R2	R1	H30	
よくあてはまる	24.0%	17.7%	17.5%	16.6%	16.1%	14.8%	10.7%	32.1%	46.4%	
だいたいあてはまる	38.9%	47.3%	44.8%	52.7%	51.2%	59.7%	85.7%	57.1%	50.0%	
あまりあてはまらない	7.7%	9.0%	14.2%	9.5%	8.3%	8.1%	3.6%	10.7%	0.0%	
あてはまらない	2.3%	3.2%	1.9%	0.6%	1.8%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	
よくわからない	27.1%	22.8%	21.7%	20.7%	22.6%	14.8%	0.0%	0.0%	3.6%	
アンケート結果の分析内容	生徒の否定的評価は、この3年間やや減少しているものの、「よくわからない」が増加しています。入学年度別に見てみると、2020年度生では、他の年度よりこの数値が20ポイント以上高くなっています。進路情報の周知については、5月の進路HRが大切な機会ですが、コロナウイルス感染拡大により、S課題による代替となり、初年度生への情報提供が不足したこともその一因だと考えられます。									
改善の方策	卒業後の進路への意識を早い段階で持つことが、学習へも良い影響を及ぼすことから、初年度生への働きかけを強めることが必要だと考えています。また、新大学入試制度が初めて施行されました。そこでは入学後早い段階から生徒自身の取組が求められています。併せて、外部機関と連携して、就職に向けた新しい取組も実施する予定です。									

設問 5		基本的な生活習慣について								
生徒	美田園高校では、社会生活を営むうえで必要なマナーを身につけるような指導が適切に行われている。									
保護者	美田園高校では、社会生活を営むうえで必要なマナーを身につけるような指導が適切に行われている。									
教職員	美田園高校は、生徒が、基本的な生活習慣を身につけられるよう指導している。									
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員			
	R2	R1	H30	R2	R1	H30	R2	R1	H30	
よくあてはまる	18.1%	17.3%	20.9%	15.4%	15.5%	14.8%	10.7%	10.7%	17.9%	
だいたいあてはまる	43.9%	45.5%	41.9%	47.3%	48.8%	55.0%	60.7%	67.9%	64.3%	
あまりあてはまらない	11.3%	13.7%	18.1%	11.2%	8.9%	12.8%	25.0%	21.4%	17.9%	
あてはまらない	3.2%	2.9%	3.7%	1.8%	1.2%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	
よくわからない	23.5%	20.6%	15.3%	24.3%	25.6%	16.8%	3.6%	0.0%	0.0%	
アンケート結果の分析内容	今年度は登校日数も例年に比べて圧倒的に少なく、指導の機会も少なかったことを考え合わせると肯定的意見がほぼ横ばいであることは良かったのではと考えます。機会は少なかったですが、「マナーアップ標語」などの活動は応募者数で昨年を上回っていました。									
改善の方策	今年度も校内マナーアップ標語コンテストの実施を評価する意見が寄せられており、効果を実感しているところです。毎年この企画を楽しみにしている生徒もおり、今後もルールやマナーについて意識する機会をできるだけ多くできるように、この活動はより充実させます。									

設問 6		相談の体制について								
生徒	美田園高校では、先生やカウンセラーが、必要ときに相談に応じてくれる体制ができている。									
保護者	美田園高校では、先生やカウンセラーが、必要ときに相談に応じてくれる体制ができている。									
教職員	美田園高校では、教員やカウンセラーが、必要ときに生徒・保護者の相談に応じられる体制ができている。									
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員			
	R2	R1	H30	R2	R1	H30	R2	R1	H30	
よくあてはまる	44.3%	33.6%	47.9%	34.9%	33.3%	39.3%	50.0%	60.7%	64.3%	
だいたいあてはまる	31.7%	39.4%	34.0%	53.3%	46.4%	45.3%	50.0%	39.3%	35.7%	
あまりあてはまらない	3.6%	6.1%	4.7%	4.1%	6.0%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
あてはまらない	3.2%	2.5%	1.4%	0.0%	0.6%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
よくわからない	16.3%	18.4%	12.1%	7.7%	13.7%	8.7%	0.0%	0.0%	0.0%	
アンケート結果の分析内容	生徒・保護者ともに肯定的評価の割合は大きいものの、2020年度生徒のポイントが他年度生と比較すると低くなっているため、周知不足だったことが考えられます。									
改善の方策	今後もHPや発送物等でカウンセリングの予定を発信していくとともに、担任面談等で相談体制があることや、気軽に保健室や相談室の利用が可能であることを、今後も繰り返し生徒、保護者に周知を図っていきます。									

設問 7		生徒会活動について								
生徒	美田園高校の生徒会活動は活発である。									
保護者	美田園高校の生徒会活動は活発である。									
教職員	美田園高校の生徒会は、活発な活動を行っている。									
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員			
	R2	R1	H30	R2	R1	H30	R2	R1	H30	
よくあてはまる	11.3%	15.9%	19.2%	10.7%	13.1%	10.7%	14.3%	28.6%	32.1%	
だいたいあてはまる	32.6%	32.1%	36.0%	34.9%	36.9%	47.7%	67.9%	67.9%	64.3%	
あまりあてはまらない	9.0%	11.9%	12.1%	9.5%	10.1%	9.4%	3.6%	3.6%	3.6%	
あてはまらない	1.8%	3.2%	1.9%	1.8%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
よくわからない	45.2%	36.9%	30.8%	41.4%	39.3%	32.2%	14.3%	0.0%	0.0%	
アンケート結果の分析内容	昨年度よりも「よくわからない」の回答が増えました。新型コロナの影響で、前期は生徒会行事を実施できなかったためと考えられます。後期は予定していた行事はすべて実施しましたが、HR時数をS課題ですでに満たした生徒も多く、行事への出席率は例年になく低い状況でした。									
改善の方策	新入生(2020年度生)の中には、生徒会行事が未経験の生徒も数多く、来年度は内容・参加人数の調整等を行って可能なものは実施し、難しい場合は今年度同様代替措置を行います。									

設問 8		学校行事について								
生徒	美田園高校の学校行事(遠足、運動会、年度HRなど)は、有意義である									
保護者	美田園高校の学校行事(遠足、運動会、年度HRなど)は、生徒にとって有意義なものが設定されている。									
数字は%を表しています	生徒			保護者						
	R2	R1	H30	R2	R1	H30				
よくあてはまる	14.0%	17.7%	25.6%	19.5%	21.4%	21.6%				
だいたいあてはまる	41.6%	39.7%	44.2%	45.6%	50.0%	56.8%				
あまりあてはまらない	12.7%	14.1%	9.8%	8.3%	10.1%	10.1%				
あてはまらない	1.4%	4.0%	4.7%	3.0%	1.2%	1.4%				
よくわからない	30.3%	24.5%	15.8%	23.1%	17.3%	10.1%				
アンケート結果の分析内容	今年度は新型コロナの影響で予定していたほとんどの行事を実施することができなかったため、今回のアンケート結果も致し方ないと考えます。一方で、生徒会企画ホームルームなど感染予防に注意した上で実施できた行事もあったことから工夫して実施の準備を進めたいと考えています。									
改善の方策	次年度、通常の行事を充実させるような努力をしていくことに加え、実施が困難な場合でも今年の経験を生かし代替となる行事を工夫していきたいと考えています。今年度は、実施できた行事が少なかった反面、生徒作品展などの出品が過去最高数であったことをふまえ、生徒のみなさんの発表の機会を工夫する活動は今後も続けていきたいです。									

設問 9	単位修得の仕組みについて					
生徒	単位修得の仕組みを理解している。					
教職員	学校は、適切な科目登録の指導を行っている。					
数字は%を表しています	生徒			教職員		
	R2	R1	H30	R2	R1	H30
よくあてはまる	57.0%	57.8%	66.4%	17.9%	39.3%	33.3%
だいたいあてはまる	36.7%	27.1%	26.3%	75.0%	50.0%	59.3%
あまりあてはまらない	4.1%	6.9%	5.5%	0.0%	10.7%	3.7%
あてはまらない	0.5%	0.7%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%
よくわからない	1.8%	7.5%	1.4%	7.1%	0.0%	3.7%
アンケート結果の分析内容	生徒の肯定的評価が全ての入学年度において増加しました。今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により登校回数が減ったせいか、各種の問合せが増え、個別の状況に合わせた話ができたと要因と考えています。					
改善の方策	今後も、個別の問合せへの対応をはじめとして、面接指導日のホームルーム活動、担任との随時面談、月例の発送物、生徒専用webページ等の様々な機会を通して自学自習・自己管理の生活の軌道に乗せられるように指導し、単位修得への道筋をつくれるようにしたいと思います。					

設問 10	一斉配信メールについて					
生徒	学校からの一斉配信メールを登録している。					
保護者	学校からの、一斉配信メールを知っている。					
数字は%を表しています	生徒			保護者		
	R2	R1	H30	R2	R1	H30
よくあてはまる	82.8%	54.9%	51.4%	73.4%	57.1%	52.0%
だいたいあてはまる	10.0%	9.7%	13.3%	18.9%	18.5%	24.0%
あまりあてはまらない	1.4%	3.6%	1.9%	0.6%	2.4%	5.3%
あてはまらない	3.6%	15.9%	22.4%	2.4%	2.4%	1.3%
よくわからない	1.8%	15.9%	11.0%	4.7%	19.6%	17.3%
アンケート結果の分析内容	今年度は新型コロナ対策の注意喚起や日程変更など配信の頻度も高かったことから、登録者数は飛躍的に伸びました。学校からの一方的な配信であるため伝達できているかの確認はできませんでしたが、連絡ツールとして今後も活用したいと考えています。					
改善の方策	来年度より生徒の側からもこちらに連絡を取ることができるように新しいシステムを導入します。そのため、本年度の登録を一旦全て抹消して新たに登録をします。このことについて周知徹底を図りたいです。					

設問 11	災害・非常時の避難方法について					
生徒	学校での、災害・非常時の避難方法を知っている。					
保護者	学校は、災害・非常時の避難方法を生徒に伝えている。					
数字は%を表しています	生徒			保護者		
	R2	R1	H30	R2	R1	H30
よくあてはまる	19.0%	21.7%	22.9%	29.6%	36.3%	30.1%
だいたいあてはまる	47.5%	37.2%	35.5%	34.9%	32.1%	41.8%
あまりあてはまらない	13.1%	16.6%	16.8%	3.6%	3.6%	8.2%
あてはまらない	8.1%	5.8%	7.0%	3.6%	3.6%	0.0%
よくわからない	11.8%	18.7%	17.8%	27.8%	24.4%	19.9%
アンケート結果の分析内容	肯定的評価の割合が保護者も生徒も減少し、「よくわからない」という回答も多くなってきています。最近の災害は大規模かつ種類も様々で、その都度避難場所や避難方法が違うため、具体的な避難について不明確で不安を感じている人が増えているものと思われます。					
改善の方策	命に関わる大切な内容なので、全ての生徒の皆さんに理解がいき渡るよう今後も努力したいと考えています。M-eラーニングの防災のページでは、情報を定期的に流したり、防災クイズを作成したりして、さらに周知をはかっていきたいと考えています。					

設問 12	郵送物について									
生徒	学校だより『みたぞの』や年度だより等の郵送物で、学校の情報を十分得ることができている。									
保護者	学校だより『みたぞの』や年度だより等の郵送物で、学校の情報を十分得ることができている。									
教職員	学校だより『みたぞの』やその他の郵送物は、情報発信として十分な内容である									
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員			
	R2	R1	H30	R2	R1	H30	R2	R1	H30	
よくあてはまる	48.9%	37.5%	51.9%	40.2%	41.1%	45.6%	32.1%	39.3%	40.7%	
だいたいあてはまる	41.2%	44.0%	38.2%	49.1%	42.9%	45.0%	67.9%	60.7%	55.6%	
あまりあてはまらない	5.4%	6.1%	3.3%	5.3%	3.6%	4.0%	0.0%	0.0%	3.7%	
あてはまらない	0.9%	2.5%	2.4%	1.8%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
よくわからない	3.6%	9.9%	4.2%	3.6%	11.2%	5.4%	0.0%	0.0%	0.0%	
アンケート結果の分析内容	肯定的評価が生徒・保護者ともに9割程度になっております。これは、新型コロナウイルス対応をふまえ、郵便で様々なお知らせをお送りできたことからだと思います。									
改善の方策	本校の家庭との連絡については、毎月の郵送物が基本であり定着していると考えられます。来年度は、さらに、郵送物の充実に加えて、ホームページ、M-eラーニングへの掲載をするなど、学校の様子を伝える情報発信を工夫していきます。									

設問 13	生徒の学校生活について									
生徒	学校での生活は充実している									
保護者	生徒の学校生活は充実している。									
教職員	生徒の学校生活は充実していると思う									
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員			
	R2	R1	H30	R2	R1	H30	R2	R1	H30	
よくあてはまる	20.4%	17.7%	19.9%	24.9%	24.4%	20.0%	3.6%	7.1%	10.7%	
だいたいあてはまる	48.0%	44.4%	46.9%	39.6%	41.7%	52.7%	57.1%	64.3%	50.0%	
あまりあてはまらない	11.3%	15.5%	18.0%	13.0%	11.3%	13.3%	21.4%	17.9%	25.0%	
あてはまらない	5.4%	6.9%	8.5%	4.7%	3.0%	4.0%	0.0%	0.0%	3.6%	
よくわからない	14.0%	15.5%	6.6%	17.8%	19.6%	10.0%	17.9%	10.7%	10.7%	
アンケート結果の分析内容	昨年と比較すると、肯定的評価の割合が生徒はやや増加し、保護者はほぼ同じ、教職員は大きく減少と、三者三様の結果となりました。前期はスクーリングが縮小され、行事もほとんど中止になったという状況を、我々教職員は「例年よりも中身の少ない学校生活」ととらえたのに対し、生徒たちはこの期間に学習を中心とした充実した時間を自ら作り出していたものと思われます。一方で、「よくわからない」と回答した生徒の割合が全体では14%、中でも新入生が最も大きく22%になっているのは、やはり登校する機会が少なく、学習の仕組みの理解も十分でなかったためではないかと思われます。									
改善の方策	生徒が豊かな人間関係を築く手助けとなるよう、各種学校行事を充実させていくことを目指すのはもちろんですが、今年度の新入生にも改めて学習の仕組みを理解させ、学習を継続して単位を修得させることを第一の目標として、スクーリングやレポートにおける指導を中心に、個別学習支援やMyスタなども積極的に活用していきたいと思っております。									

設問 14	生徒・保護者への学校の対応について									
生徒	美田園高校の先生方は、疑問や質問に丁寧に対応してくれる。									
保護者	美田園高校の教職員は、対応が丁寧である。									
教職員	学校は、生徒や保護者に丁寧な対応をしている。									
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員			
	R2	R1	H30	R2	R1	H30	R2	R1	H30	
よくあてはまる	51.1%	37.9%	47.3%	44.4%	40.5%	43.7%	50.0%	33.3%	46.4%	
だいたいあてはまる	33.5%	37.5%	43.0%	42.6%	39.3%	46.4%	50.0%	59.3%	50.0%	
あまりあてはまらない	3.6%	3.6%	4.3%	5.3%	4.2%	4.0%	0.0%	7.4%	3.6%	
あてはまらない	0.9%	1.8%	0.0%	1.2%	0.6%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	
よくわからない	9.0%	19.2%	5.3%	6.5%	15.4%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
アンケート結果の分析内容	全体として肯定的評価の割合が昨年より増加しました。教職員が生徒・保護者と対面でやりとりをする場面よりも、電話で連絡したり、問い合わせに回答したりする場面が例年よりも多かったと思っておりますが、我々教職員の対応は、おおむね好意的に受け取られているようです。									
改善の方策	今後とも生徒や保護者の気持ちを尊重して、相手の状況に応じた適切な対応を心がけるとともに、対面や電話の場面のみならず、通信物によるはたらきかけにも丁寧に取り組んでいきます。									

設問 15	通信制の学習スタイルについて					
生徒	通信制における自学自習を基本とする学習スタイルが自分には合っている。					
保護者	生徒には、通信制における自学自習を基本とする学習スタイルが合っている。					
数字は%を表しています	生徒			保護者		
	R2	R1	H30	R2	R1	H30
よくあてはまる	45.7%	38.3%	48.0%	47.3%	48.2%	46.4%
だいたいあてはまる	35.3%	34.7%	33.3%	41.4%	33.9%	40.4%
あまりあてはまらない	9.0%	5.4%	9.3%	3.6%	4.8%	7.3%
あてはまらない	0.9%	2.9%	1.5%	1.2%	1.2%	1.3%
よくわからない	7.7%	18.7%	7.8%	3.0%	11.9%	4.6%
アンケート結果の分析内容	評価の分布については、肯定的な評価が8割以上を占めており、本校の学習スタイルに合っていると感じている生徒・保護者が多数を占めていることが分かります。					
改善の方策	「自学自習」が自分の学習として合っていないと感じている生徒が一定数いることから、登校した際には、生徒が登校した際に教師が積極的に生徒にアドバイスをするなど指導の工夫をしていきたいと考えています。					

設問 16	日常の教育活動について		
教職員	美田園高校の職員は、組織の一員として日常の教育活動に当たっている。		
数字は%を表しています	教職員		
	R2	R1	H30
よくあてはまる	35.7%	39.3%	28.6%
だいたいあてはまる	60.7%	60.7%	67.9%
あまりあてはまらない	0.0%	0.0%	3.6%
あてはまらない	0.0%	0.0%	0.0%
よくわからない	3.6%	0.0%	0.0%
アンケート結果の分析内容	肯定的評価の割合は、例年通り9割を超えています。今年度は新型コロナウイルスに対応するため、例年以上に学校全体が一つになって動く必要に迫られましたが、校長を中心に各分掌がうまく機能して組織的な対応ができたのではないかと思います。		
改善の方策	今年度に引き続いて次年度もコロナウイルスへの対応を迫られることが予想されるとともに、「学習指導要領」改訂が1年後に近づいていることから、さらに一層全職員の意識を高めていかなければならないと思っています。		

設問 17	分掌目標の実現について		
教職員	美田園高校の職員は、分掌目標の実現のために努力している。		
数字は%を表しています	教職員		
	R2	R1	H30
よくあてはまる	28.6%	32.1%	35.7%
だいたいあてはまる	71.4%	67.9%	64.3%
あまりあてはまらない	0.0%	0.0%	0.0%
あてはまらない	0.0%	0.0%	0.0%
よくわからない	0.0%	0.0%	0.0%
アンケート結果の分析内容	「設問16」同様、肯定的評価の割合はほぼ100%という状態が続いています。1人1人の職員が、所属する各分掌の業務に真剣に向き合って仕事をしていることの表れだと思われます。		
改善の方策	「組織としての教育活動」を支えるのが一人一人が担当する各分掌の業務であるという意識を忘れずに、今後も各分掌の目標を実現すべく目の前の業務に力を尽くしてしていきたいと思えます。		

* 100%にならない項目は、無回答があるためです。